

取手市の四季



冬：大空凧プロジェクト ※フォトコンテスト



春：岡堰の桜



夏：とりで利根川大花火 ※フォトコンテスト



秋：東漸寺観音堂と銀杏

取手市では四季を通じて多くの伝統行事や祭り、イベントが行われ、季節を彩ります。新春の恒例行事「とりで利根川たこあげ大会」は、新型コロナウイルスの影響で2023年に3年ぶりの開催。1月14日に取手緑地運動公園を会場に行われ、利根川の河川敷で自作の凧を空高く揚げて楽しむ家族連れなどで賑わいました。1月22日には、取手市、東京藝術大学、取手市民の三者共同で行われている「取手アートプロジェクト《半農半芸》」の一環として、高須地区でかつて地元の風物詩だった凧揚げの文化を復活させようと取り組む「大空凧プロジェクト」を開催。300枚の凧揚げと六畳凧の復活に挑戦しました。

春の訪れとともに市内各所では桜が見ごろを迎えます。その一つ、小貝川の岡堰は江戸時代の初めに新田開発の用水のために設けられた堰で、大正時代から桜の名所として知られています。岡堰近くの「さくら荘」では3月下旬から4月上旬にかけて、ソメイヨシノ約80本の桜並木のライトアップを実施、幻想的な夜桜を楽しめます。

夏の風物詩の一つ、「とりで利根川大花火」は、1930(昭和5)年に大利根橋の開通を記念して始まった伝統のある花火大会。今年は8月12日に開催され、市内外から訪れた多くの見物客が約7,000発の花火を楽しみました。また、伝統の夏祭り「八坂神社例大祭」では、8月5日に4年ぶりの神輿の渡御が行われました。

9月以降はとりで産業まつり、取手市民美術展などのイベントが続きます。紅葉は11月中旬から12月上旬にかけて見ごろを迎えます。市内の紅葉スポットの一つ、東漸寺は1574(天正2)年の創建と伝えられている古刹。境内に建つ観音堂と山門が県の有形文化財に指定されています。冊子「取手市の巨木と名木」にも掲載されている「目隠しイチョウ」が色づき、境内は黄色いじゅうたんで覆われます。

《Information》

- ◆大空凧プロジェクト
茨城県取手市高須長田地区
【お問合せ】
NPO法人取手アートプロジェクトオフィス
- ◆さくら荘 さくらライトアップ
茨城県取手市岡1025
【お問合せ】取手市観光協会
- ◆とりで利根川大花火
取手緑地運動公園
【お問合せ】取手市観光協会
- ◆東漸寺観音堂
茨城県取手市本郷3丁目9
【お問合せ】
取手市教育委員会生涯学習課
埋蔵文化財センター

(写真提供/取手市 表紙写真/取手市空撮)

(※フォトコンテスト：取手市観光協会 フォトコンテスト受賞作品)